

2. 国際医療薬学教育研究推進プログラム

事業参画大学間の連携プログラムとして実施したものには【連携】を付した。各プログラムの成果については、実施大学のホームページ等に詳細が記載されている。なお、プログラム名に（*）を付したものについては別添の資料が提出されている。これらについては、本事業のホームページの資料あるいは各実施大学のホームページ等でご参照いただきたい。また、参画大学からの事業報告の中で、本事業の主な5つのアドバンスト教育研究プログラムとしても報告があるものについては、プログラム名と簡単な概要を取り上げた。

【2016年（平成28年）度】

1) 学部生、大学院生を対象としたプログラム

<京都大学>

○ 「International & Innovative研究者の育成」事業

- ・学部生及び大学院生を対象として、国際研究交流を目的として、共同研究のための海外研究機関訪問（短期留学）、海外研究機関におけるセミナー発表、海外での国際学会発表にあたって旅費および滞在費の支援を行う。

<岡山大学>

○ 成均館大学薬学校での英語開講授業の体験的聴講事業（*）

- ・学部生及び大学院生を対象として、韓国成均館大学薬学校での英語で開講されている薬学専門教育科目を体験的に聴講し、併せて同校の学生との交流を行った。
- ・「国際連携薬学セミナー（0.5単位）」として実施した。

◇ 参加人数：薬学科学学生1名、製薬科学科学学生・博士前期課程学生3名

○ 全学対象で実施する語学研修のための短期留学事業

- ・学部生（学年を問わず）を対象として、オーストラリア等で語学研修短期留学を実施した。グローバル人材育成コースを履修する学生は必須科目とした。

◇ 参加人数：学部生4名

<九州大学>

○ 日本学生支援機構海外留学支援制度を利用した国際交流（1）

国際化に対応できる薬学研究者の育成プログラム（台湾への派遣）

- ・学部生及び大学院生を対象として、台北医学大学薬学部へ3週間程度派遣し、英語による講義の受講、研究室での研究活動、論文作成および附属病院等での実習、フィールドワークを実施した。

◇ 参加人数：創薬科学科4年次生、臨床薬学科5年次生、6年次生、修士課程学生 合

計6名

- 日本学生支援機構海外留学支援制度を利用した国際交流（2）
創薬のグローバル化を見据えた研究者育成プログラム（台湾からの受入）
 - ・台北医学大学薬学部からの学生を3週間程度受入れ、研究室での実験、実習や附属施設でのフィールドワークを実施した。
 - ◇ 参加人数：台湾医学大学薬学部生3名
- 日本学生支援機構海外留学支援制度を利用した国際交流（3）
グローバルに活躍できる薬学生の育成プログラム（タイへの派遣）
 - ・学部生を対象として、タイの4大学（チュラロンコン大学、マヒドン大学、コンケン大学、ナレスアン大学）薬学部へ3週間程度派遣し、英語による講義の受講、研究室での研究活動および論文作成等を実施した。
 - ◇ 参加人数：創薬科学科4年次生5名
- 日本学生支援機構海外留学支援制度を利用した国際交流（4）
次世代の薬学を担う人材の育成プログラム（タイからの受入）
 - ・タイの4大学（チュラロンコン大学、マヒドン大学、コンケン大学、ナレスアン大学）薬学部から学生を受け入れ、研究室での実験、実習や附属施設へのフィールドワークを行う（90日以内）。
 - ◇ 参加人数：タイ4大学の薬学部生16名

2) その他（大学としての取組等）

<金沢大学>

- 大学間交流協定及び部局間交流協定（*）
 - ・学部生を対象として、金沢大学薬学系・瀋陽薬科大学（中国）・釜山大学校薬学大学（韓国）の部局間交流協定に基づいて、金沢大学・釜山大学校・瀋陽薬科大学薬学系国際合同シンポジウムに教員と学生を派遣した。

<京都大学>

- ソウル大学－京大－阪大合同シンポジウム（SKOシンポジウム）
 - ・三大学間で結ばれている交流協定に基づいて、それぞれの留学生交換や相互訪問、共同研究の実施などを通じて交流を深めている。定期的に合同シンポジウムを開催しており、大学院生に発表の機会を与えた。